

あすみっ子・大椎っ子田んぼ 2011 稲刈り編 一子どもたちの感想からー

9月21日は快晴のもとあすみが丘小学校の、26日はうす曇りのなか大椎小学校のそれぞれ5年生による学校田んぼの稲刈りが行われました。最初に鎌がいかにかい危ない物か、稲刈りが「危ない仕事」という話を金谷さんにしていただき、子どもたちの表情がひきしまりました。たくさんのボランティアのお母さん方のお手伝いのもと、子どもたちは、たわわに実った穂を刈りとり、学校まで肩にしょって帰っていきました。

みなさんのご協力があって、今年の稲刈りもケガなく、無事に終わることができました。

☆あすみっ子田んぼ

■稲刈り感想

*自分のところに順番が来たけど、みんな、行って来たりする時、泥に足がはまって大変そうだったので心配だった。田んぼに入るとやっぱり足がはまって稲富さんに助けてもらって服に泥がつかなかったのが良かった。「稲を刈るのうまいね」と稲富さんに言われてすごくうれしかった。(K・Y)

*最初は、きんちょうして、かまで手や足を切らないかなーとふあんでした。足が「ドロ」に入ってぬけなくなったりでたいへんでした。だんだん慣れてきて速く切れました。よかったです。手や足を切らなくて本当によかったです。(M.T)

*稲が意外とかたくて、切れにくかったが、楽しかった。長ぐつがどろにはまり、なかなかぬけなくて、大変だった。1回、稲が根までぬけて大変だった。農家の人は、こんな大変なことをたくさんやってるんだなあと思い、すごいなあと思った。(Y.K)

*稲がなかなか切れなくてねっこごとぬけてばかりいたからむずかしかった。最後は、ちゃんと切れたからよかったと思いました。(Y.S)

*田んぼの上を歩くのがむずかしかった。草の上や稲の切めのふぶんの上を歩くと歩きやすかった。初めてかまを持ってこわかった。稲を切るのもむずかしかった。右にスライドさせるときれいに切れた。(C.M)

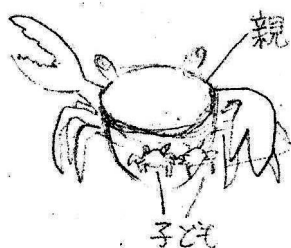
■自然観察感想

*田植えにいった時は生き物の数が多かったけど今回は田植えの時より少なかった。また、田植えの時は同じ種類の生き物のほうが多かったけど今回はいろんな種類の生き物がいた。(M.G)

*台風であぜがグチャグチャで歩きにくくて気をつけなければいけなかったけど田んぼが無事でよかった。いろいろな生き物がたくさんいてオニヤンマが産らんしているめずらしいところも見れてとても楽しかった。川の水温が低い所や少し高めのところがあったりしてすごく勉強になった。スズメバチなど、とてもきけんな生き物もいたけど、かまれたりさされたりされなくてよかった。(S.Y)

*自然観察では、ふだんみれない虫も、植物も見れてとてもうれしかったです。ふだんでは、オニヤンマはみれないのに、まちかで見れて、とてもうれしかったです。シオカラトンボもまちかで見たら羽がきずついていました。走りグモは、ふつうのクモとちがって、水の上を走るすがたがすばやかったです。アメンボのようでした。(Y.I)

*自然観察の時にスズメバチがいたのでびっくりしました。ハチにさされるといいたいのでじっとしてました。1回もさされた時がないのでどれだけいたいのかわかりません。わたしのちかくにいたので少しびっくりしました。(N.M)



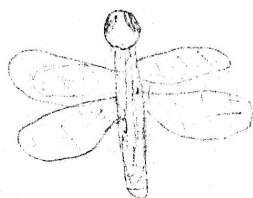
サワガニ

サワガニを見ていると、おなかの部分がパカッとひらき、子どもがでてきた。産んでいるところを見れてよかった。(K.O)



オニヤンマ

日本で一番大きいとんぼです。オニヤンマがたまごを産んでいるところを見ました。水にむかってちょんちょんとつついて産んでいました。(M.T)

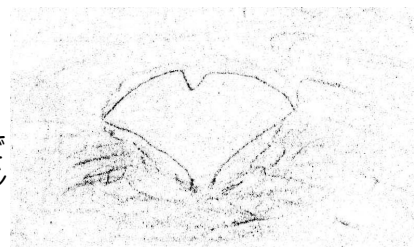


コケ

イチョウの形をしたコケがありました。このコケは、ぜつめつきぐ種なんだそうです。大きさは、ふつうの丸いコケと同じぐらいで、色は、緑色でした。(A.K)

ハシリグモ

水の上はすごくはやくすべっていた。田んぼの中にいっぱいいて、いろんなまようがあった。(Y.C)



☆大椎っ子田んぼ

*YPPの田んぼには、むらさきいろの稲があった。そのまわりにはフサフサしたものがついていた。(赤米)稲にもいろいろな種類があることがわかった。また、わき水をさわったら冷たかった。わき水は山おくからきていることがわかった。稲を刈ると、くきがうどうだった。(M.Y)

*わたしは自然観察で小蒲をみつけました。茶色のソーセージみたいで、さわるとかたかったけれど、表面は毛がはえていてふわふわでした。図鑑で調べると、小蒲は蒲の仲間で蒲よりひとまわり小さいので小蒲というそうです。蒲の花粉は、傷を治す作用があるといわれ、薬用にされます。花のあとでできる種には、やわらかな毛があります。また、蒲には「因幡の白うさぎ」という神話があります。大国主という神様は体中の皮がむけて泣いている白うさぎに会い「真水で体を洗って蒲の穂をしきつめて、その上をころけてごらん」と言われました。うさぎがそうすると、もとのような白い毛が生えてきたという話です。(H.S)

*私は谷津田で稲刈りの仕方を教わり、稲刈りを体験しました。鎌はとても危ないということや、ななめに動かせば、簡単に切れるということがわかりました。貴重な体験をすることができました。(S.O)

*自然観察では、稲についていた虫や田んぼにいたカエルを見ることができた。稲刈りでは、最初はなかなか稲を切ることができなかったけれども、2、3回したら、うまく切れるようになった。田んぼに足を入れるとすぐに足がしずんだ。(M.S)

*自然観察では、サワガニが赤ちゃんガニを産んでいるのを見ることができて、とても印象に残った。赤ちゃんガニは小さくてかわいかった。また、田んぼにクモかアメンボのような生物もいたがどちらかわからなかった。ネコジャラシにもいろいろな種類があることを知り、名前もわかった。このような貴重な体験ができてよかった。(A.F)

*自然観察では、いろいろな種類の稲を見ました。コシヒカリとは違って紫色だったので、何かの病気なのかと思いました。しかし、「緑米」と「赤米」という種類だそうです。また、前に行った時は虫や昆虫がたくさんいたけれど、寒かったので、あまりいませんでした。寒いと虫などは出てこないのだなと思いました。(M.K)

*自然観察でカニが子どもを産んでいるところを見ました。カニのおかあさんのお腹の中は白くてパンパンにふくらんでいて、そこからつぎつぎと、小さなカニの赤ちゃんが出てきました。このような瞬間を見ることができてよかったです。稲刈りでは、鎌がそんなに危ない物だと思っていなかったけど、金谷さんのお話を聞いて、気をつけようと思いました。気をつけたので、ケガなく、稲刈りができました。最初はうまく刈ることができなかったけど、終わるころにはうまくできるようになりました。(E.O)

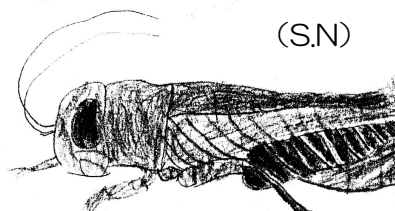
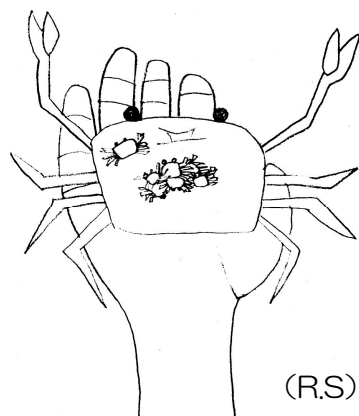
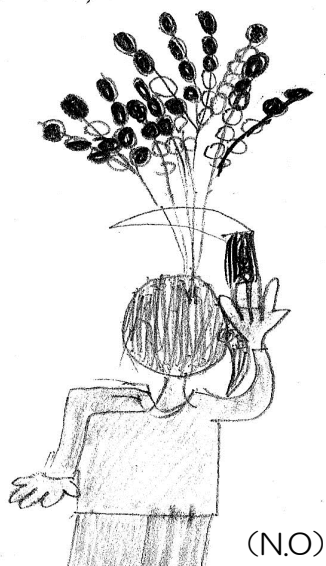
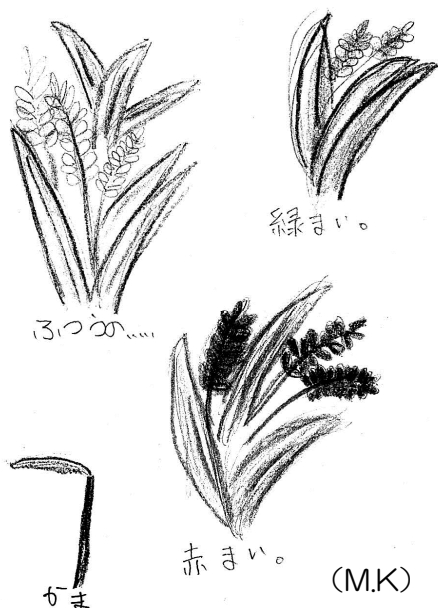
*稲刈りは楽しかった。米は1つぶ1つぶ大切だと思った。食べるのは簡単だけど、育てるのは難しいことがわかった。

った。自然観察では、タニシやヤマカガシなどの生き物を見た。サワガニの赤ちゃんがかえっているところを見た。お腹に何匹も赤ちゃんがいて、びっくりした。(N.O)

*谷津田でいろいろな生き物を見ました。稲刈りは前にもしたことがありましたが、ほとんどお父さんがやってくれました。今回は自分でやりましたが、けっこう難しかったです。また、稲刈りをするのがあったら、今回のことを思い出しながらやりたいので、いい経験をしました。(K.Y)

*サワガニが赤ちゃんを産むのを見ました。とても小さくてかわいかったです。やはり生命の誕生はすごいなと思いました。見たことのない生き物がたくさんいて、おもしろかったです。稲刈りでは、鎌の説明を聞きました。鎌の刃がノコギリみたいにギザギザしているのを初めて知りました。稲刈りは初めてだったので、ドキドキしました。田んぼの深いところはもものあたりまで、はまるそうです。谷津田で初めての体験、仕事をしました。(M.T)

*今回の自然観察では、サワガニの赤ちゃんが生まれるところを見れた。それ以外に、ガマや、赤米や黒米、緑米などのお米があることを教えてもらった。絶滅危惧種のイチヨウウキゴケも見られたりした。(Y.N)



*稲刈りでは、田んぼに入った瞬間、ズブズブと足が入ってしまいました。サワガニの赤ちゃんがかわいかった。緑米はモミをむくと緑のお米で、黒米は黒かった。(R.S)

*3度目の谷津田では、初めての稲刈りがありました。稲刈りをするため、田んぼに入ると、意外にもドロが気持ちよかったです。稲刈りは、鎌や稲の葉など危険なので注意しながら刈りました。刈った稲はひもでしばりました。自然観察では、サワガニやエンマコウロギ、マツモシなどがいました。とても楽しかったです。(S.N)



里山たんけんレポート

第 140 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2011 年 9 月 4 日（日） くもり

集合場所にはドングリのついたコナラの小枝がたくさん落ちています。切り口を見れば強風で折れたようには見えません。切られているようです。誰の仕業でしょうと言う問いかけから観察会は始まりました。ハイイロチョッキリと言うゾウムシのような虫がドングリに卵を産んでその小枝を切り落としていること、切り落とすのはドングリが傷つけられると防ごうとある物質をコナラが出すのでそれを嫌ってハイイロチョッキリが切り落とすと言う生きものどうしのせめぎ合いの解説などがありました。ドングリを袴から外して卵を産み付けた穴の跡などを観察しました。まだ落とされたばかりで幼虫にはなっていませんでした。

スタート早々、参加者が黒いアゲハチョウを捕まえてくれました。クロアゲハ、との声も上がりましたがナガサキアゲハの雄でした。尾状突起がないこと、雌雄の特徴、温暖化で北上していると言われているチョウであるなどの説明。とそこへ、コオニヤンマが持ち込まれました。オニヤンマと言う声もありましたがコオニヤンマと言い当てた小学生がいました。観察会の常連さんです。コオニヤンマは複眼の間が空いているサナエトンボの仲間、オニヤンマは複眼が一部くっついていることなど説明。

広場の草原では蛇の子が見つかりました。シマヘビの幼蛇でした。ここでシマヘビに出会ったのは初めてでした。草原はバッタの仲間がいっぱい。キリギリスの仲間、バッタの仲間、コオロギの仲間の解説があり実際に捕まえて見ました。ショウリョウバッタモドキの雲隠れの術にはみんな感心しました。とまっている葉に同化していて 20cm 位のところで指差されても容易に虫がいるとは判りません。

真っ白いシロヒトリの翅の下、お腹や脚の赤い斑がきれいで自然のデザインにも見とれました。

赤とんぼはアカトンボの見分け方の資料で捕えたものを確認し、4 種類のアカネの仲間がみられました。

生きものがいっぱい草花には目を向ける暇がありませんでしたが、終わりにハッカの花と香りを楽しみました。

（参加者 大人 15 名、高校生 2 名、子ども 11 名； 報告：網代春男）

第 125 回 下大和田 YPP「コシヒカリの稲刈り」

2011 年 9 月 17 日（土） 晴れ

9 月 17 日下大和田の田んぼでコシヒカリの稲刈りが行われました。厳しい残暑の中、過酷な条件でしたが参加者一同頑張りました。

4 月 9 日の種まきに始まり、5 月 14 日の田植え、そして途中草取りなどありました。この日はいよいよ稲刈りです。この日も多くの参加者が谷津田に集まりました。しかしこの日の稲刈りは過酷な作業となりました。厳しい暑さに加え、今年は異常に多い雑草との格闘です。稲を刈りながら雑草の選別除去をしなくてはなりません。直射日光に体力を消耗させられ、水分補給の水が不足する中の厳しい作業でした。例年の何倍もの労力を必要としました。それでも何とか午前中にコシヒカリ田を 2/3、午後に残りとカヤネズミ田を半分刈ることができました。この日集まっていた皆様のおかげです。皆様ありがとうございました。

（参加者：大人 26 名、小学生 20 名、幼児 2 名；報告：平沼勝男）

*その後、台風 15 号の影響でオダが全壊する被害に遭いましたが、有志の方が修復してくださったお陰で順調に乾燥が進み、10 月 2 日に刈り取ったコシヒカリと黒米の脱穀を終えました。



子どもたちも元気に稲刈り（撮影：渡部瑞穂）

下大和田 子ども漫画講座

2011 年 9 月 10 日（土） 晴れ

9 月 3 日に千葉市生涯学習センターで行われた環境漫画家・つやまあきひこさんのまんが講座の第 2 弾が下大和田で行われました。この日集まったのは講座に応募してきた小学生とその家族の皆様。まだ暑さの厳しい中でしたが 4 つのグループに分かれ谷津田の自然観察、その後に涼しい森の中でまんがを描きました。先に行われた生涯学習センターの講座であらかじめ谷津田の予備知識を得ていた皆様は谷津田の生き物に積極的に触れ合っていました。川ではザリガニ、ドジョウ、スジエビ、アカガエル、カワニナ、タモロコ。草原ではカマキリ、トンボ、様々なバッタ類など。それぞれ思い思いのキャラクターにしてマンガにしていました。描いた後は発表会です。つやまあきひこさんの楽しい司会で盛り上がっていました。

（参加者＜スタッフ含む＞：大人 19 名、小学生 13 名、幼児 2 名；

報告：平沼勝男）



描いた漫画を前に、津山先生が講評（撮影：田中正彦）

<谷津田・季節のたより①>

小山町

9 月 6 日 モズの高鳴きを聞く。赤米が出穂。イネの間をアジイトトンボがたくさん飛んでいた。コシヒカリの田んぼで株の間にミスオオバコが咲いていた（高山）。

9 月 22 日 台風 15 号が前夜に通過。稲は全体の二割ほど傾いたものの、斜め 45 度くらいまでで持ちこたえていた。ほっとした（金谷）。

<谷津田・季節のたより②>

下大和田

- 9月10日 漫画講座の日、開始前にオオタカが舞う(網代)。
9月13日 夕方、強雨、田んぼに一気に水が溜まった。雨上がりに、鈴虫の声を今秋初めて聞いた。ヒグラシやコオロギとフルオーケストラ(金谷)。
9月17日 稲刈りの日、イシガメとクサガメが出てきて子どもたちの遊び相手になってくれた(網代)。
9月18日 カヤネズミ田んぼの稲刈時にカヤネズミの巣が3個あり、その内のひとつから2匹のカヤネズミが飛び出した。17日にひとつあったので今年は4個の巣が掛けられていたことになる(網代)。
9月23日 黒米の稲刈りの日、昼休みのときに刈ったばかりの田んぼにキジの雄1羽、雌3羽が出てきて刈り取って置いてある稲束の穂や落ち穂を啄んでいた。午後14時頃にはサシバが谷津の上空を西から東へピクシー、ピクシーと繰り返し鳴きながら飛んでいった。久しぶりに典型的なサシバの鳴き声を聞いた。シイタケ大発生。まだ小指の先ほどの芽生えだが、とにかくたくさん出始めた(網代)。
9月27日 雲が高くなり、栗も落ち始めた(金谷)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第126回 下大和田 YPP「古代米の稲刈り」

最後の稲刈りは古代米の緑米、赤米です。鎌を使った作業ですが、小さなお子さんでも注意すれば大丈夫です。ご家族でもお一人でもお気軽にお出かけください。

日時: 2011年10月29日(土) 10:00~14:00 小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴(泥深いので長め)、帽子、軍手、敷物、

参加費(資料代等): ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第142回 下大和田 11月の谷津田観察会とごみ拾い

冬鳥のジョウビタキの声が聞こえだす頃です。先月に引き続き赤とんぼのカウント調査をしながら谷津を一巡します。

日時: 2011年11月6日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合: 下大和田 YPP に同じ

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼第71回 小山町 YPP「古代米の稲刈り」

古代米の緑米、赤米の稲刈りをします。深まる秋の自然を楽しみながら作業をしましょう。

日時: 2011年11月3日(木・祝) 10:00~12:30 *小雨決行、荒天時は10月2日に順延

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

編集後記 今年も田んぼにナガコガネグモが少ないようです。例年、イネの葉をつないで張られた大きな網を多数見かけますが、今年は目立ちません。脱穀の時、ナガコガネグモの壺形の卵(“卵のう”)を見つけて、外すのに手を止めることが何度もあるのですが、コシヒカリの脱穀の時はたった2回しかありませんでした。下大和田の定例観察会リーダーの網代さんに伺うと、今年は昆虫の数がとても少なく、その上、野鳥の数も顕著に少ないとのこと。いろいろと原因を想像してしまうのですが、年ごとの個体数変動の一環で、来年は復活してくれることを祈りたいです。

(高山 邦明)